明治四十四年二月一日 (水曜日) 第六百十六號 (一)

月曜及祭日の翌日休刊 (日刊)

(明治四十一年十二月二十三日第三種郵便物認可)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久紳一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社

雜報

●朝鮮の財政

併合後に於ける朝鮮總督府の歳出入は各四百一萬七千七百六十三圓にて歳出入内譯左の如し但し万圓以下の端數を省く

▲經常部歳入 ○二百卅九萬圓租税○五万圓印紙收入○四十八萬圓驛屯諸收入○十七萬圓官業及官有物收入○二萬圓雜收入○合計三百十三万二千七百六十三圓

▲臨時部歳入 八十八万五千圓

▲經常部歳出 ○二十五萬圓李王家歳費○四十六万圓總督府費○卅九萬圓裁判及監獄費○四十八萬圓警察費○四萬圓醫院○三萬圓官立學校費○七十二万圓地方廳費○五萬圓慈惠醫院費○八万圓稅關費○二萬圓專賣局費○三万圓勸業模範場費○一万圓工業傳習所費○五萬圓通信費○一万圓修繕費○十萬圓豫備金▲合計二百七十八萬圓千四百廿圓

▲臨時部歳出 ○二萬圓給道費○十六萬圓土地調査費○三萬圓産業獎勵費○十七万圓鑛業所擴張費○二萬圓印刷局費○五十九萬圓諸支出金○十六萬圓憲兵補助員費○五萬圓元親衛府費▲合計百廿三万千三百四十三圓

●全羅沿岸航路調査

全羅沿岸航路の調査として去る廿一日群山を解て木浦に入りたる度支部關稅局の小野技師は廿二日より當稅關支署内にて補助航路に關せる木浦航運會社の帳簿並に諸書類の檢閲を午後五時までに全部終了し引續き各線路に付きても實況を調査する筈にて二十三日荷地發の敦賀丸に乘し山野瀧三氏と共に莞浦に向へり一行は廿六日頃木浦を經て長興線視察の途にも上る筈なりと

●碧蹄館保存會

文錄の役の紀念たる京畿道高陽郡の碧蹄館は爾來多年の風蝕雨露により甚しく腐敗に歸したれば併合發表後右保存の議相起りたるは其當時の紙上に報道せし所なるが頃ろ同郡守崔錫如外二三名發起となりて具体的に碧蹄館保存會なるものを創設し弘く特志者の贊同を得て其腐頽を防止し實物の紀念を永く保存する事となれるが實に如斯古蹟名所の保存を圖るは喜ぶべき次第なるが今其會規を得たれば左に掲ぐべし

▲第一條 本會を碧蹄館保存會と稱す▲第二條 本會は文錄古戰の紀念物たる碧蹄館及掛果樹の管理保全を計るを以て目的とす▲第三條 本會事務所を高陽郡廳に設置す▲第四條 本會には左記機關を置く一委員會二幹事一名三書記一名▲第五條 委員會の目的を達するが爲め其方法を討議決定し任務は多數決方法を以て議決するものとす▲第六條 幹事は委員中より選出し委員會の決議を實行し且つ一切の庶務を監理す▲第七條 書記は幹事の指揮を受け幹事を補助して事務を取扱ふ▲第八條 本會に要する費用支出方法は委員會の決議を以て定む▲第九條 本會規は委員會の決議に依り改正する事を得

●滿鐵傭聘醫師

兵庫縣廳に於て人選を了したる滿鐵傭聘醫師は左の如く決定し廿六日午前十時神戸出帆の臺南丸にて渡滿したる筈

細見新治、福島都三郎、増島徳、鮫島正義、小柴次郎、黒田孝榮、鹽田覺、武富秀文、吉武安男、神川徹

山中鹿之助

六十九回　西尾麟慶演

尼子は其小兒を招き段々質ねると百姓の悴だと云ふ、ソコデ親元に懸合て家臣にいたし、名を皐月早苗之助と改める、勝丸の小姓となつたが頗る聰明で今度尼子九郎左衛門が叛逆にて已に義久は生擒れ、又八重姫は自害し今や勝丸に危險の迫り來るを見て、之を助け寺本生死之助と共に此末如何なして此の危難をさけんと相談中通りかゝりし旅僧の召連れたる稚兒の首を生死之助が刎た、早苗之助は、餘りの事にアッと驚き、早「コッ何故に罪なき小兒を斬り給ひしかと問はれて生死之助はニッコリ笑ひ「イヤ其御不審は御最もなれど是には仔細あり、先づ心を鎭めて拙者の申す事を聞給へ、足下項羽の勇ありとも、此先數萬の軍兵飛道具を以て取圍む時、幼君を補佐し脱出ん事かたかるべし、今天計ずも、此兒童を我に玉ふ、何國の人の兒童かは知らねども不憫ながら首打つて若君の身代りとし、八重姫君と二人の首持つて九郎左衛門を欺き給ふべし、足下は若君諸ども一兩日深山に身を忍ばせ、餘所ながら勝丸君を守護し玉へ、と云ひれ然らば左う云ふ事にいたさうと申して居る後ろより「アイャ暫く愚僧申上げる事ありと出たのが先刻の出家で御座ひます「借て〳〵主従三世の縁なりとは賊なるかな、只今手にかけられたる童子は尼子晴久公に仕へし森脇市正が孫千代丸と云ふ者なり、市正其子太郎次郎は、先年毛利と戰つて討死をいたし、此の小兒都東福寺に來り、出家になさんと師に頼み、森脇市正は遂に病死爲す夫より今年まで養育せしに此の子父の菩提を弔はんと、頻りに願ひし故愚僧同道して雲州へ參る途中、勝丸樣の身代りになりたる事、盡せぬ主從の縁ならん、然し此の稚兒を勝丸殿の身代りに出さんと云はれるは甚だ恐僧の考へには宜しと思ふ、ソハ何故なれば朝夕勝丸を見知りたる尼子九郎左衛門、如何に其首を頂といたしませう吾れは是れ東福寺殿司明兆と申すもの、人呼んで恐僧を兆殿司と申します、幼年より書を好み些か其道は會得いたしたり、よつて此の首に彩色を施し、勝丸君に寸分違はざる樣いたし申すべし」と是から繪具を取出して彩色をいたしました、見ると何うしても勝丸しか見ねません、生死之助は早苗之助の二人は大ひに喜び、ソコで生死之助は八重姫と僞せ勝丸の首を持て引返す事になる、兆殿司は勝丸を稚兒に仕立て都に戻らんと云ふ、茲で別れ〳〵になりました、此方は早苗之助一方を切破つて僧侶の跡より逃れん、御身京都の中御門數之郷の館まで御送り下されい、とソコで今まで着せし衣類は千代丸に着用させ、千代丸が着せし衣類を勝丸君に着せまゐらせて遂に一方を僞り開かしめて、危き圍みを逃れつ京都へ落ち行きまして御座ります、而して中御門數之郷の屋形に着いたし、事の始末を申述べて勝丸早苗之助並に兆殿司の三人は數之郷に御目通りいたしました、始終を聞しめされまして其の御歎きといふものは一方ならず、數〻何はしかれ此の處にあッて時の來るを待つべし」と遂に中御門郷の御館に一同は足を止めて時の來るを相待つて居りました、扨てお話し替つて此方は鹿之助が屋敷にありしところの九重姫で御座ひますが、尼子九郎左衛門が毛利と合体して義久公を生擒となして、毛利家へ送り、鹿之助までも悉殺いたし、暴威ます〳〵盛んなる趣を承はり、其の驚き一方ならず、然る處へ爰に義久公の寵臣に高橋太郎と云へる人がありまして、其の人の嫡男清之助明家庵之助など、云ふ卅年の勇士の面々が山中鹿之助の急變を聞きまして、直に鹿之助の死骸を守護して屋敷へ歸りました、又横道兵庫之助の死骸も同じく釣臺に載せて持ち來りまして、一同の人々顔をあつめて、此の末如何いたしたるものならん、と相談いたし居る處へ怪しき使の者一人參りまして、九重姫へ對して書面を送り來りました、其書面を披ひて見れば是れなん別人ならずして生死之助より事の始末を委細注進の使者で御座ひました。

제616호　1911. 2. 1.

東京電報（三十日）

▲安協後の政界　桂首相と西園寺總裁との安協後政界は何等變動なく至極平靜なり

▲豫算査定進捗　豫算案は連日分科會を開き審議中なるが大勢平穩なり

▲都督府防疫費　關東都督府は滿州ペスト猖獗を極めつゝあるを以て防疫費追加豫算案を提出せり

▲滿鐵の大奮發　南滿鐵道會社は防疫費百萬圓を支出し日本內地より醫師二十四名を招聘する事に決定せり

▲總督府追加豫算　朝鮮總督府追加豫算八十餘萬圓は今朝豫算分科會に可決せり

▲臺灣の山火事　臺灣に山火事あり山林五百餘町步を燒拂いたり

雜報

●總督と防疫事務　寺內總督はペスト發生以來執れし又は將來に亘り執行せむとする施設及措置に付今期議會に提出するの必要あるを以て至急調査報告すべき旨二十九日總務部に電命ありたり

●各學校長の視察　內務部學務局は本年四月より新學期開始と共に鮮人兒童教育方針改革の必要を認め今回左の學校長學監をして管內各學校教育の現況を視察すべく電命を發したり

▲峯平讓高等學校學監　平安南北道京畿道黃海道へ出張

▲福士釜山實業學校學監　慶尙南北道京畿道鎭南浦等へ實業學校視察（以上電命）

▲田中漢城外國語學校長事務取扱　慶尙南北道へ出張

▲高橋漢城高等學校學監　忠淸南道及全羅北道へ出張

●定例長官會議　三十一日午前十一時より朝鮮總督府會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監、石塚取調局長官、倉富司法部長官、小松外事局長、木內農商工部長官、岡本通信局長官代理、鈴木司稅局長等列席政務に關して打合せする處あり午後一時解散したり

●長官辭職說に就　有吉總務部長官の東上に伴れて同氏の辭職說起りたるが右は何等かの間違なるべく同氏は昨今健康も大に快復し日々朝鮮總督府出張所に出勤夫れ／＼事務に鞅掌しつゝあり位なるを以て辭職云々のとは有り得可からざることなりと當局者は語り居れり

●江岸の非常防疫　鴨綠江上流防疫に就ては既報の通りなるが義州水口鎭以北厚昌郡上鎭城に至る百三十里の間に四十箇所の防疫所を設け渡來者に對しては左の方法にて消毒法を行ひ尙は近日中碧潼以南に一里每一ヶ所の憲兵分遣所を設立し防疫を行ふべしと

▲消毒法

一、靴、鞋、其他履物の消毒は昇汞水を綿狀又は藁等に濕し置き其上にて充分に拭ふ樣にせしむべし

二、手足を消毒するには昇汞水にて洗滌せしむべし

三、被服物品を消毒するには石炭酸水を如露にて全面に撒布すべし

●全國師團長會議　例年師團長會議は四月に召集され各師團長東上して管內の軍事狀況其他に關して上奏することゝなり居れるが本年は例年より一ヶ月繰り上げられ來る三月上旬に召集され松永第二師團長も其頃上京すべしといふ

●李王職員に辭令　李王家職官吏に二月一日附きにて辭令を下附さるゝ事となり職長閔丙奭、次長小宮三保松の三氏以下は同日午前十時宇總督府に參集し山縣政務總監の手を經て右辭令交附の上一場の訓示をなすよし

●團隊長會議　三十一日より二日間第二師團司令部に各團隊長を召集し教育方針其他諸計劃に付會議を開きたるが列席者は松永第二師團長市川參謀長以下十餘名なりし

●貨幣發行高週報　二十二日より二十八日に到る貨幣發行高左の如し

銀行券總發行平均高	一九、二九五、四七一
內正貨準備發行平均高	七、〇〇一、四六四
保證準備發行平均高	一二、二九四、〇〇七
硬貨發行高（一月三十一日現在）	八、一二〇、四四〇
內金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	一、三三二、〇〇〇
同二十錢	一、九六四、〇〇〇
同十錢	一、八七六、〇〇〇
白銅貨五錢	五六六、〇〇〇
靑銅貨一錢	三四七、〇七五
同五厘	八五、三六五

●議員選擧の光景　空前の盛觀

三週餘日の奮戰激闘も詮じ詰むれば勝つか敗くるかの二途あるのみ此決戰の刹那に於ける各候補者の心理果して如何の感とか爲せる而して運命の神は業に已に最も公平に當落の人々を物色し居れるに知らぬが佛の各候補者は孰れも相當の得票を算定し一々に之を問へば五十餘人全部當選を豫期し居れるぞ面白し蓋し此自己惚れあればこそ彼が如く血眼の競爭をも演ずる所以なれ今當日に於ける投票會場及其內外の活劇を目擊せるまゝ茲に記述せんに

▲折惡しき天候　數日來の雪解に市街一圓到る處泥濘と化し往來步行の困難殆んど名狀すべからざるに折惡しくも同日は昨日來寒雨蕭々として降り頻り之が爲めに甚しく人氣沮喪の感あらしめたり然れば識別せる票數に對し少く共三割減位の大影響あるべしと唱へられ見るもの悉く失望の色面に現はれ居りし斯かる有樣なるより形勢兎角不利と見たる候補者連は徒らに晏如たるを得ず朝來四方各所に車を飛ばし或は血氣の運動員を驅りて再度の哀願懇願に努め居るを見たり

▲開會前の選擧場　一方民團にては數日來會場の準備苟くも遺漏なき樣完成し古城選擧長を始め京城府派遣の監視官并に警察官其他六名の選擧事務補助員等は午前六時頃には既に出頭し受付係、投票用紙交付係等の吏員を指揮して場內を整頓せしめ時刻の到るを待ち軈がて定刻の時鐘の響きと共に振鈴を合圖に開會せり

▲各團体の活動　而して各團体にても此最後の晴れの場所に苟くも遲くれを執らじと數團きつゝ南大門を中心に各戶に事務所を設け五十餘名の候補者及數百名の運動員等各々所屬の事務所に詰め掛け其內外に焚き火して片唾を呑むで時刻の到るを待てる樣勇ましなんど言はん方なし而して其事務所を瞥見するに會場入口より南大門內には中部同志會實業同志會西部有權者實業團大安同志會鹿兒島縣人會料理屋組合東部繁榮會其他數種の單騎團體の事務所西部有權者團京龍聯合團等相並び軒凄まじく陣立て又門外には井出氏事務所にも候補者氏名を軒頭に標榜して有權者の注目を惹くに力め壯絕言ふべからず

▲龍山の通路要擊　又龍山側にては會場の入口のみに止めず古市町の電車乘換地點井出氏方に有權者待合所を設け茲に龍山來の有權者を迎接し電車に導きて一齊に繰込める杯其用意の周到驚くに堪へたり

▲開會刹那の光景　各團体の戰闘準備既に成り振鈴の響き場の內外に聞ゆるや各團の勇士猛將等は更に一層の威勢を鼓舞し東西南北より踵を接して集り來る有權者を道に要し巧言令色只管其歡心を求むるに是れ力め而かも尙は及ばざらんやを恐れつゝ競ひ始めぬ而して其手段の巧妙なる宛然東廓の晩妓を觀るの觀ありたり

▲潮の如押寄す　然る間も無く入口の街路は潮來時の海邊を[illegible]如く轟々隣々の響きと共に有權者黑山を成して押し寄せ來り午前十一時頃には誰彼の區別さへ見分け難き程の盛況を極め進に要擊せんと佇立せる候補者等は孰れも異口同音の嘆聲を發して斯く混亂の狀を呈しては折角の作戰計畫も一施し難しと話し合へり

▲有權者の勢容　扨て有權者等は今日のみは堂々たる紳士紳商も何かあらん底の勢容を示めし切々の哀願懇請を腮にて挨拶しいながら悠然として步を進め行ける有樣見るも面白き程なり而かも之が爲めに怒る事も成らず何分宜敷と繰返へして後影を見送り心中潛かに合掌三拜し居る候補者も亦辛い哉なり

▲注目を惹ける有權團　注目を惹けるは午前十時頃來着の新町遊廓團無慮三千餘の入場有權者中特にして五十餘名の人々草鞋脚袢の打扮に勢揃ひして進み來れるもの是なり次で各縣人團同業組合團等の人々も隊を成し帽子或は胸邊に徽章を附着し傍目も觸らず而かも是れ見よがしに入場せるは大に他の垂涎を招きたり

▲正午の入場數　各團体にては偵察の目的を以て候補者或は運動員等交る／＼入場して投票を爲し入場を算し居れるが午前九時には三百名十時には四百五十名十一時には八百餘名正午には千三百餘名の入場者ありと注されり

▲官吏側の投票　官吏側は必ず多數の棄權者あるべく豫期せられしが豈計らんや龍山鐵道側は言ふまでもなく京城側よりも午前九時迄に十數名の高等官さへ見へ又農商工部の如き日各局課の吏員二十餘名一時に來場せり其他通信局警察側各官衙の吏員等辨當を橫腋に挾み三々伍々來場したり

▲場內外の警戒　南大門一丁目より御成町に到る街道には數步に一人の警官を配し又入口より會場までの通路にも數十の警官を派出して萬一を警戒せしめ殆んど油斷も隙もなからしめたり

▲寬嚴宜敷を得　當局の警戒は上記の如く用意周到を極め些の間隙なかりしが殊に賞すべきは漫りに警察の干涉を爲さず候補者をして自由運動せしめ又有權者に對しても安じて其權利の行使を爲さしめたるより彼が如き盛況を極めたるに拘らず場內外とも非常の靜肅を以て終始せり是れ實に官憲の態度寬嚴宜敷に適へる爲めならずんばあらず

▲會場內の光景　四百餘坪の一大建物を充用したる事なれば其設備の宏大言ふまでもなし今其模樣を描き出せんに本校の正玄關に會場入口を示めせる標札高く掲げられ夫より左に折れ進めば左側の教室に撰擧人控所の設けあり茲に番號札を得右折し一庭を越せば則ち會場にして先づ受付係あり甲乙丙丁戊の各組に名簿を備へ氏名年齡の對照を受け茲を通過すれば投票用紙交付係ありて再び受付係に於ける如く調査せられ所定の名簿に捺印して投票用紙の交付を受け漸く投票場に入る投票場の正面には紫色の幔幕を張り詰め其前に選擧長古城民長儼然として控へ其左には總督府監視官其右は今村警視及警部其前面兩側に佐々、鮎貝、大島、進、上野、執行六氏の撰擧事務補助員あり又前面投票函は峯尾助役海浦會計役之を監視し而して其前方十數步を離れて投票用紙記入の卓子五十個處に設られ一々板子を以て之を劃し左右隔所相通ずるが如き憂なからしめ飽迄選擧の神聖を保ちたり而して用紙の記入を了れば直ちに踵を返して撰擧長の前面に進み投票函に投入して左に折れつゝ指示の出口に出づ其整然たる規律嘆に堪へたり

▲いの一番の投票　正午には入場者千三百名を算せしが午後一時三十分頃は正さに千六百七十五番に達せり而かも尙續々東西南北より入場し居たれば規定の刻限までは四千番に達せん形勢見ゆ而して斯く多數投票者中いの一番に投票を爲せるものは龍山の竹內菊太郞氏なりしと

●投票總數（三十一日午後六時締切）三千九百十四

●各地選擧情報

●仁川選擧界　既報の如く混戰に混戰を極めたる仁川選擧は三十一日午前九時より民團樓上に於て擧行されたり今其模樣を記せんに民團前より仲町尾崎旅館迄の間は各團体及單獨候補者名を大書列記せし看板を立並べ事務所を設けて勢を張り民團入口には仁川民團議員選擧場と大書し昇降口にて選擧人の名簿對照をなし樓上入口に於て封筒及投票用紙を渡すべく吏員百名靜肅に控へ投票函の前には岩崎氏長細谷警部髙玉綱木茂木大崎の各立會人いと嚴肅に控へ居たり同十時頃より徐々選擧人來場し何れも愼重の態度にて投票し午前中の選擧人は約三百名

●釜山逐鹿界　各派團体

午後六時締切總數七百九十二

の勃興に激せられてか廿八日に至り四縣人會の奮起を見るに至れり而して其公定候補として樣岡三郞及龜井亮之の二氏を推し事務所を守谷旅館內に置きて活動に着手したるが右兩氏に對し同時に中央實業團、新興實業有志團よりも之を推薦し藤隅日の三州會は海部嚴氏の後援少きに同情して之れを推し兵庫縣人會又同氏の同縣出身なる故を以て極力之れを援くべく朝鮮會の漁業家京城日の丸市場主として有名なる香推源太郞氏の石川眞平氏の讓りを受けて候補者として名乘りを上ぐるや防長、筑豊、廣島等の部分的同情を寄するものゝみならず有權者の多くの望を囑する所となり居れば勢力最も優良なりと觀測せらる西部より推されたる釜山日報編輯主幹久納重吉氏には被選擧權なしなど仲傷的言辭を弄するもの出で來れりとこれに對し同氏は辯明廣告を出せり對州親睦會にては各派より適材一名宛を選擧することに決し對實會は武久捨吉氏を公選會にては迫間保太郞、迫間房太郞、岩崎新平、三輪保吾の四氏を公定候補として發表したり中村熹三郞氏は公然候補辭退廣告を出したるも二十九日に至り所感ありとて愈々單騎逐鹿界に切り込みたりと結構の勝敗果して如何

●選擧事務所瞥見

會場前の光景は實に空前の盛觀にして今其事務所に就き一々之を掲記せんにも大阪千日前も之には及ばずと思はれぬ

▲最も異彩　を放てるは實業團推薦原持井天日の三氏を赤地白拔きに大書し學校正門前某商店の側面に家一杯に掲げたるものなり而して之と相對し正門の左側に白地の大看板あり見れば筑前會の池田持井兩氏を推薦せるものにして何人にも注意を惹けり

▲京龍聯合團　事務所は正門の右側に在りて各候補者運動員等鎬を削りて敵に備へ油斷も隙もあらばこそ命して最も努め居たるは渡邊五郞大村百藏氏等にして必死の擧動見るからに勇まし

▲西部事務所　は南大門の內外に亘りて二個處に設けられ小川委員長東奔西走能く努め候補者も亦兩極を往來して有權者を迎へ懇願し何卒ぞ宜敷と溢れんばかりの愛嬌たら／＼而して其中に任て殊に目立ちて跳ね廻れるは深水淸君と池田長次郞君次で松浦源治君なり夫れも其等以上三君は校員が京城全市に散任し居ればなり

▲中部事務所　は見掛けの通り白髮尊を頂く老人連の候補最も多き故何となくヂヂ臭く感ぜられぬ然れば萬事の行動ドコまでも落ち付き拂つて見へるか心は決して然らざるものゝ如く眼のみギヨロ／＼させつゝあり老人の哀しさには徒らに氣を焦ちの上みにて五體が儘ならぬ爲めなるべし尤も中村再造君のみ相變はらず元氣盛んにして他派の事務所を駈け廻り就中東部を本陣の如く構へ『私は中部より東部に關係深く之が爲に有權者諸君からも何故東部に來ないのだと大叱られを蒙つて居ります

▲東部事務所　に到れば樂鐘は總べて甘露の熱爛となりれ茶の代りに一杯と勸めらる而して孰れも元氣を鼓舞し大醉氣を極め居るを見たり殊に近藤佐五郞君のみは東部の人ならで本君は胸に充分の成算あるものゝ如く見ゆ例の二へ、調子の高笑ひ石井君は撰擧は樹頭權尾運動に限ると唱へ本陣を外にして多く正門前に活躍し居ぬ何と相變らず悠然として濟ましたもの古城君は洵に如才なく立廻りつゝありしが餘程氣になるものと見ねて其朝日錄方に飛べる自己攻擊の書面の出處に就き辯解に努め居たり

▲實業同志會　は所謂從濟會の人々を中心として數十名の運動員盛んに活躍し其隣りに設けある前田皆川田中等諸氏の一騎連と相呼應して奮鬪せる態頗る勇まし

▲大安同志會　は東部と同一家屋內に在りしが東部の優勢に壓せられて其存在さへ知られず僅かに太平町角に斜に掲げある大看板を見て此處かと合點かる位なり

▲鹿兒嶋縣人會　は薩摩隼人の面々淵上君を擁して一種の威容を示めし居れるが其隣りの

▲小料理屋組合　と相接して奇異の對照を見たり小料理屋組合は半纒着の若者二十餘名焚火を圍むで喋々喃々而し吾黨來ると見れば直ちに飛び出で一賴み込み中々に活動するを見たり唯だ一旦推薦せし和田君の名前を聯台名刺より切拔けるは心の底見へ透きて卑し

▲土木建築組合　は一時兎角の評ありしも在外團体としての價値あるを見たり流石は分らぬ樣にて譯の分る連中なりと思はしめぬ

公人私人

▲三輪義深（龍岩浦技師）入京中の處三十日退京

▲岸秀治（全北全州技師）同仁川へ

▲平野忠藏（忠原憲兵分隊長）同龍原へ

▲矢島守男（二師軍醫）鴻上京城旅舘

▲治外法權▼

民團議員の選擧運[illegible]事と噪いて居る中に半島中各民團の選擧が濟んだ、過去一ヶ月間の努力其効果が明かになるのはスグだ▲アヽ自慢にならぬかも知れぬが、今度の議員選擧運動か一番盛んであつたの一我京城民團であるのだ、六千餘の有權者中雨天を恐れず泥濘脚を沒する程の街路を草鞋ばき長靴ばきで投票に出掛けた連が四千人だ、其選擧權行使に熱心なるは立憲治下の民として實に賞すべき事だ▲投票者の多くは普通移住民であつた、併し官吏の投票者も中々多くあつた、半島在任の官吏にして投票權を有し且つ行使する者の多くあるのは結構な事だ、官吏必ずしも應論的にあらず、家庭を有し、子女を有し民團稅を負擔し、他の移住民と共同生活を爲す以上は選擧に關係するは當然の事だ▲我間往々にして民團議員の選擧を小事と嘗すものがある、成程理窟から言へば小事に違ひないのだ、併し民團は半島に於ける唯一の自治体であるのだ、其自治体の參政機關が乃ち民會で之れが進步すれば他年他日は朝鮮議會となつて總督政治に參與するようになるのだ▲記者は今度の選擧を比較的重大事と見做した、何となれば候補者及選擧有權者の行動が將來に於ける自治体存廢の問題を決するの材料となると信じたからだ、幸にして候補者も有權者も適法に行動した、言を換ゆれば自治の能力を有する者なることを證明した▲總督府の民團問題解決ドウなるかは不明だ、併し今度の樣な立派な選擧を爲し得る移住民に向かつてマサカ自治を許さぬとは云へまい、而して此點に於て記者は心強く感ずる▲愈々開票の結果何人が當撰の榮を得るか、アケて口惜しき玉手箱、孰れ互樣に心配な事だ▲記者の見を以てすれば今度の選擧は殆んど絕体的に潔白であつた、而して其茲に至りし所以は當局官憲の取締宜敷を得たると僭越ながら我社嚴選投票の宣傳を得たる結果だ▲サテ當選者が誰かと云へば其大多數が我社の豫選に當選した人々であるべきことは無論だ、號外、號外、僅に受合だよ。

●二月二日臨時休刊

龍山行 みや生

私かこの間龍山の或る知人の所へ用事が有つて行く途中南大門の脇へかゝつた時、一人の男が何事か深く物案じそうに傍の自働電話室へ入つた。トンビを着て居るので羽織は判らぬが着物丈は下の方から銘仙のぺら／＼が見へて居る。

顔の細面の鼻下に口髭のある、年齢は二十七か八か何所となくもの優しそうな物腰、時刻は午後の六時頃最早薄暗で人の顔はよく分らぬ。

やがて出て來たが直ぐ脇の元角」とかいふ自轉車店の前で何人かを待つて居る樣子。

其所へ鮮人の人力車に乗つて來た美しい女が目早く男を見付けて降り立つた、「ア電話で呼出したのはこの女だなと私は感付いた。

「今日私、充分待ましたワ、あなたが四時頃に龍山から御歸りに成ると仰有るから三時頃から停車場へ行つて待つて居たの、所が四時何分かの汽車にもお歸りに成らないのでセウ、其れから驛夫に聞いて見ましたら未だ五時十分着の汽車が有るといゝますから其の汽車の來るまで待つてましたが、それにもトウ／＼御見へに成らないので、」

「ルデ私、馬鹿見たよでしたワ」と眞面目らしく恨めしそうに語る、男は笑ひながら、

「イヤ、本統に濟みませんでした、實際失敬しました、實は今日行く積りで居たがすが行かずに濟んだので、全く申譯ありません」と極く優しく且つ丁寧である。

「何うも大へん失敬しました」と又男がいふ。

「イゝエ、私こそ、昨日は……」女は氣まり惡るそうに俯面て少しも顔を上げぬ、否な心安い仲と見へて肩と肩を並べて停車場の方面へ行く。

兩人は南大門停車場の三等待合室へ入つた、而も兩人並んで直ぐ入口の正面に座をかまわる。

「龍山行は何時でセウ」と女がいふ。

「サア」と男は柵の間から鐵側の時計を取り出して見つめながら柱時計と見くらべてる。

「未だ二十分程ありますわネ」

女も十四形の銀時計を取り出して出札掛の前に掲げて有る札を見て呟く女は羽織も着物も極く派手な矢ガスリの揃いに頭髪は可愛らしい挑われに結つて居る、年齢は二十才前後の十人並の女である。

兩人は前の日に芝居見物に行く約束をして居たものと見へ、昨日の中に電話で現今何を演つて居るかを聞き合せ、それを男に知らしたものらしい。

附近りに人が居たつて氣付かぬと見ゑて附捨なく語り合ふ。

發車間際になつて男が切符を二枚買た鈴が鳴ると男が先きに女が後から嬉しそうに付いて行く。

兩人りは入口に近い所へ腰を降した。男が何にやら話し掛ける、けれども附近が騒ぞしいので女にはよく聞き取れぬと見ゑて何度も聞き直す。

活動寫眞 設面子

（一日）朝の街と停車場

粛々たる雨に夜は明けて、灰色の空は暗膽として不安を感じさせる、泥濘の道は、脛を沒する。南大の門畔、高く人名を掲げて、幾多の男は、熾火盛んに人車は飛び去り飛び來りて、形勢何んとなく穏やかならざるは、夫れよ、今日は民團議員選擧の日であつた、彼等の聲は一票を得んとするの叫びだ、彼等の頭は一票を利せん爲めに低い、一刻は一刻より、益々猛りに猛る彼等の聲は、恰かも餓鬼が食をあさるが如くである、

見上ぐれば電柱、廣告札あり云く謹で各位の御同情を乞ふ候補者田中某と而して其上位には、梅毒、癩病の、廣告札がある、一個室々たる人間も詮するに一の賣藥ほどの價値であるかと、噴飯に堪へなかつた、

驛に入れば寂として人影依稀たり奕一等待合室には、沈默の客五七、輕く暖爐に手を翳して無心に立つ、

三等待合室は、流石に赤裸々で、何んとなく活氣を帶びて居るが嬉しい、勇み肌の車夫や乳房あらはの女房や、ベールの鮮人やが右往左往の光景も、タイムの進むに從つて消へた、

いゝいゝ、午前九時四分、釜山行列車と、同九時十分、新義州行列車とは、雨に淋しき停車場を南北に別れ去つた、

●一人娘の袖を引く

卅日午後八時頃仁川新昌洞酒家安濱順方に於て一人の日人額一面血に染み居る旨訴により出張取調べたるに此の者は廣島縣與市河原石町當時仁川松坂町木村組船夫塚本利吉（三八）と云ふ者にて一昨日は鮮人側の一月元旦に相當するより塚本外一人にて豫て知合なる同家に招かれ酒を飲み居る中連れの一人は先へ歸りしに付塚本も歸らんとしたるに自分の下駄の見へぬより同家の娘の袖を引留め居る處へ沓洞居住の劉明根（三二）が是れも酩酊して入り來り塚本に向ひ娘を捕へて何とすると云ふより早く塚本に打ち掛りしより同人も立腹し摑台を初あしに泥酔し居る事とて遂に劉の爲めに殴打され鼻血を出したるが爲め前記の次第と判明し双方共嚴しく加說の上放還せり

●滿州ペスト現況

奉天防疫本部より滿州に於けるペスト新患者發生狀況に付警務總監部に達したる電文左の如し

▲二十八日發生の分 大連セウコウシコウサイヒンドウヒカンシヨ一、療病院隔離舍五、公主嶺一、長春一、計八、附屬地外奉天三十四、鐵嶺一、昌國三、法庫門十六、計五十四、合計六十二

▲二十九日發生の分 大連隔離所二、小公子街一、奉天朝鮮人三、四平街一、公主嶺一、長春二、撫順炭坑日本人一、計十一、附屬地外奉天二十八、鐵嶺一、開原一、長春三十七、計七十八、合計八十九

▲三十日發生の分 新患大連三、長春朝鮮八一、計四、附屬地外奉天三十七、鐵嶺二、長春二十六、計六十五

●横領店員

京城本町一ノ七〇雜貨商井出三郎方店員原籍長野縣伊那郡飯田町一二〇二番地平民奥田角次郎（二二）は去る四十二年以來同店に雇はれ月給五圓を受け常に龍山新市街陸軍官舍一圓の得意廻りを擔任中客年來賣掛代金を着服し窃かに桃山遊廓紀之國屋娼妓玉の森の許に足繁く通ひつゝありしが終に龍山警察署に引致せられ刑法第二五二條に該當するものとて檢事局に送らる

●間抜け泥棒

東大門外在十里河億仁（十三）は二十九日午後六時頃本町七丁目百四番戸雜貨商岡本健之助方に忍入り家人の寢靜るを待ち翌午前二時頃主人健之助の寢室に至り枕元に置きありし手提金庫を窃取し逃走せんとする際主人に知られ警察に引致され目下取調中

●龍山 强盜殺人

龍山出坊下水溢里七九統十戸に住する鮮人洪召史（六七）方に二十九日午後零時頃一人の强盜押入り些少の金品を盜み其際召洪を殺害して逃走したるを隣人の訴へに依り龍山警察署に於て直ちに出張夫々取調べたり而して犯人は未だ縛に就かず

●各署の鼠買上數

三十日の各警察署捕鼠數南部署八十三西大門分署六十北部署五十五銅峴分署三十一水門洞分署十五東大門分署十四

●現は亡き人を想ふ

▽裏方籌子の方の事

裏方籌子の逝去は、日本現代の婦人の典型を失つた最大恨事なのである、僕は四十一年の夏帝都を出でて北海道を漫遊した、朝風涼しき函館より小樽に至るべき列車には、偶然、光瑞法主と裏方とが相乘せられた、光瑞師の魁偉の躯幹と、裏方の瀟洒たる風彩とは、時ならぬ尊敬の念を一同に拂はせたのであつた、列車は進み行く、驛々に迎ふる信者の旗は翩撤として風に靡き、高く念佛を唱ふる聲は內浦灣の波に響いて、賓儀は雨の如く車窓に注がれ、長亭短驛、大沼の絶勝、指顧の夢と過ぎて、海嘯恙なく小樽に着いた、法主と裏方とは、纔かに馬車に同乘せられて電燈淡き一直線の市街を砂塵輕く埠頭に向はれた、樺太行の汽船は、此賓客を迎ふべく汽笛は夜の空氣を震はした、今に及べば僕が追憶の夢は、餘りに憧かれの薄かりしに泣いのである。（秀峯）

●喧嘩● 長崎縣長崎市大浦郷八百二番地當時仁川港碇泊の團平船吉貴丸十五號乘組員中村政太郎（三二）は三十日午後二時三十分頃同船の雇人なる高平收（二五）に賃金三圓餘を仕拂はざる件より口論を初め遂に同船に在合せたる棍棒を以て高平を毆打し右肩に微傷を負はせたるより兩人共引致取調の上中村より賃金と外に藥代として三十錢を仕拂はせ將來を戒め放還

●喧嘩● 熊本縣川尻町當時仁川碇泊團平船吉貴丸十七號乘組員小山安次郎（三二）は三十日午後十時頃仲町一丁目鎌鶴松方に於て知人四名と飲酒し酩酊の上暴行をなさんとするより警官出張說諭を加へ放還

●醉漢 福岡縣平民當時太平洞五十二統三戸魚商人平井爲治（三三）は十九日午後十時四十分頃蓬萊町鐵道官舍南大門驛助役武井氏宅に酩酊闖入し婦人のみなるを奇貨とし亂暴を働き南部署に引致され暴行者として取調中

●浪花館 初日早々より大人氣なる大阪女義太夫竹本越之助一座一日の語り物は御祝儀賓入舟（入登）鈴ケ森（權助）朝顔日記（越濱）白石噺七ッ目（若大）鏡山（源八）亦助內の段（土佐濱）伊賀越沼津（源八）忠臣藏本藏下屋敷（花助）三勝半七酒屋の段（越子）先代萩御殿場（竹本越之助）彌次郎べ喜多八藤枝の場（總掛合）電氣應用にて岡三味線鶴澤大三 竹本三越なり

●仁川の鼠買上數 三十日は百三十頭四圓九十錢にして廿七日懸賞の告京をなしてより七百三十頭

▲平民文壇▼

▲薩摩琵琶讓受希望なくも如何にせん村雨●●さかの變名では住所も姓名もサッパリ分らぬ僅かに正面から名乘り給へ直に訪問せん（相生町嘈々窟主人）▲大和町チイパリ生に答ふ妾もニキビで困りて八様から聞きたのですが餘り熱くない湯にタオルを濕し其を絞りて五分か十分程顔に當てゝ此度は乾いたタオルで極く酷く顔を擦ると乾度癒るそうです（一下女）▲前二ケ年間の民團議員勤怠表本日の紙上に御發表あらん事を希望す（一公民）▲然り本社は特くに民團議員勤怠發表の大に此際參考上必要を確認し既に民長に交涉せしに民長曰く常時ならば兎も角今や選擧も切迫せし今日此際故之を調查發表するは却て有權者に一種猜忌の念を生せしめ憖い不測の弊害を釀すやも計り難きに依り懸じ兼ねるとの拒絶尚曰く之が拒絶に對し若し貴社より攻擊さるゝとも敢て喋々辨解せざるべしと▲記者曰く此際依民團員勤怠發表の必要あり民長の言大に當を失したる不可解の語なるも記者は特に所謂同情の遠慮に絆れて許步せり（一記者）▲成程ナアーそばやの看板で客を引き仇つぽい酌女を澤山置き暗散財させる處は小料理やと丁度似て居る且つ……これが所謂朝鮮式だろふか私處の樣に山生しの土臭い女計り使つて居ては流行ぬも道理だがさりとて取締もないのかしらんて（同）●●▲ヨボが非常に靴を欲しがる近頃靴の盜難が多い僕も過日一足しか無い靴を窃取され閉口して居る此內南部署の擧げられた樣にヤー一回各ヨボの古靴具屋を搜查して頂き度い（一足靴生）▲○川に本店を有し○大門驛前に在る某貨物運輸店に今や業務益々發展しつゝある今日惜しい事には內部に其人を得ざる平店員共の醜聞等果して事實とすれば同店の爲め慨しむべき事である（是聞生）▲ペスト豫防上捕鼠獎勵は誠に結構だが然し五萬頭毎に抽籤とは待ち遠い今日迄の捕鼠數を見ても五萬頭とは今年中でも六ケ敷い仁川と同樣にして買ひ度いねー（不平生）▲○○役所○○受付の小僧は不得要領で其の上馬鹿に橫柄で困る一寸手直しの出來る事でも苦情計り頑張りて勝手に呼付け公衆の迷惑と成る事多し○役さん氣が付きませんか（櫻巷生）▲昨今の市街を見るに泥濘は話にならぬ二頭馬車や人力車ではれ料り無い歩いてる老弱男女の困難は思取りで大抵料りましようれ互何んとかしたいもんだあの泥土を攫ひ取つて肥料とでもしたなら一擧兩得（登賀志生）▲二度しても好い正月の心か那（彌生）▲ご勝樣（小僧）

今日の運勢

二月二日舊正月四日四綠癸卯佛滅△一白 盜害損額の難あり旅行起業開店入學△門起工に忌む他は逐行吉△二黑 入學門起業開店披露に祝典に吉他は手扣へ事務に吉△三碧 婚談集團協同結社組合の事に忌む近親家庭の事業あり新事業婚談貸借金談委囑相談効無し旅行出帆見合せの事△四綠 新事旅行不動產上の事に忌む他は行事進んで差障なし盜害遺失防ぐべし△五黃 賓買取引金品授受故障起らん世話事及び出費多き日なり諸事手扣への事△六白 類勢の日新事及改易の事婚談旅行に凶建築動土に吉△七赤 障り多くして良果を擧げ難き日諸事手扣の事務に起業開店婚談金談凶△八白 盜難衛生及不和離間注意すべし新事旅行見合の事△九紫 證券收金品授受に故障起り易し他は大抵進んで吉

二月三日舊正月五日五黑甲辰大安平△一白 成効し難き日新事及込入りたる事見合せらるべし旅行貸借婚談凶△二黑 保證引受依賴要求斥くべし總じて平和の日婚談結社組合事に吉△三碧 間違多き日金品授受證券帳簿婚談旅行に凶△四綠 談判交涉熟議熟談婚談し忌む商業上進んで吉賓傷誘惑防ぐべし△五黃 投機的射倖的行爲 慈悲情緒の行爲を施す勿れ業務上不如意の日とす新事旅行見合すべし△六白 取引貸借に錯誤生じ易し他は有望の日大抵進んで吉△七赤 快欣の日雇入れ入學門婚談披露祝典旅行起業開店に適す△八白 我意を通じて誤ちある日なり他の行事は進んで吉△九紫 出損出費節する日なり他は大抵進んで吉

●諸公債諸株券現物賣買
近達石賣に御取扱可申候兼業
四業在外及賣買公用諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話九三九

種苗木
農具農書、禽畜
營業案内
無代贈呈
東京内藤新宿電車終點際
日本種苗株式會社

恩給年金
諸證券
確實取引月一歩五厘
京城中部銅峴坊相生洞二十九統七戸
鍾路通り東洋生命保險事務所
上州屋支店
電話九百五番

●水道用 ゴムホース 布ホース
●消防用
電氣機械 附屬品物一式
呼ベル其他電氣に關する器具取付及修繕一式
京城明治町九十八番戸
竹下商店
電話廣局松組一七一番

種子
苗木
蔬菜
販賣 豫約 募集
營業案内は御申越次第進呈す
京城北部學洞
富士國園

瓦斯コークス販賣
京城南山町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

◉貸金
旭町二ノ一五別府高橋
有擔保者にて極秘密に低利融通可申候

質
京城太平町二丁目三番元黒澤邸跡隣
確實に擔保低利貸金融通す
宮永金藏
京城支店

質
京城黄金町一丁目度支部官舍向側横路突當
壗見質店
旭町二丁目自府廳裏路曲突當

入院隨意
京城旭町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

廣告
生等時勢に鑑み相計り茲に二三人の協同事業として左記の場所に分析所を設置し主に砂金其他金銀地金の賣買を目的に開業經營仕候に付ては數量の多少に拘はらず懇切着實を旨とし實地試驗分析を爲したる結果に因り何程にても買收可仕尚は亦た精製分析を爲し精製地金として取扱ひ可申に付此段江湖の諸賢に謹告仕候敬首
尚ほ地方在住の各位に在りては價格表記小包にて御郵送相成候はゞ迅速に正確なる試驗を遂げ代金は直に御指定の方法に依り送金可仕は勿論一般に各位の御便宜相謀り候精神に付何卒將來御愛顧を賜はり候樣偏に希望仕候
明治四十四年一月
京城南大門通三丁目
朝鮮分析所 電話百九十九番
李潤廣
金時鉉
岡宗治

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米、和洋ローソク上白シメ油㊣醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電略（ニ）又ニ
振替貯金口座韓國七番

英米煙草會社京城代理店
千代田相互保險會社京城代理店
京城本町貳丁目

和洋金物商
佐野彦藏商店
電話一六三
振替口座韓國一二〇番
洋平板洋釘、亞用線、銅眞中板亞鉛板各種銅線各種土工用具農具一式〇仙德火鉢鑄物火鉢各種生花用具一式〇建築金物一切其他鍋釜鑄物類一切

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

齒科診療
齒科醫 楢崎東陽
京城南山町二丁目（天眞樓跡）（寫眞館跡）
電話千三百六十番

諸金網製造販賣
鑛山用其他御好次第
製紙用
精米用
織網一式
篩類一式
右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命仰付被下度候也
和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番電信略號「ク」
振替貯金口座朝鮮二五六番

エールリヒ秦氏
新梅毒注射藥
右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候（入院隨意）
一月十一日
京城南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番

資本金五百萬圓
本店東京日本橋區吳服町
支店派出所（横濱 天津 釜山 京城）
東京建物株式會社京城派出所
京城旭町二丁目百十五番戸
電話番號一六八一番
營業科目
土地建物抵當貸附
月賦償却建物建築
土地建物賣買紹介

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械一切
業品材料
旅行用娯樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二
振替貯金二三一

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良
高等牛乳
京城南大門外
荒井牧場（電話一〇五六番）
龍山本町三丁目
龍山販賣所（電話二〇二番）
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

印章彫刻
ゴム印彫刻
諸官衙御用達
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
奥野岩太郎

今般小生儀朝鮮孤兒院長の勸めにより京城日鮮音樂團を組織致し候に付大勉强を以て各位の御用相勤め可申候間何卒御引立の程偏に奉希上候
京城日鮮音樂團
京城本町七丁目（深堀製綿所内）
主任 深堀久雄
取次電話一八三五番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

電話開通一千五十番
朝鮮人向物品委托賣買
東大門 池田出張所
田舍行駄馬運搬所

南大門外池田商會本店は今回從前の場所より半丁西へ移轉し業務擴張仕り候間倍舊御引立相願候
食料品雜貨商
京城御成町
池田商會
電話七五九番
振替口座朝鮮二四七番
ライト
サンライト
ムーンライト
製菓部

京齋流割烹
すゞ津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

滋養高等牛乳
京城南大門外
韓國畜産會社
電話八八番
壯强

東京足袋
本店 東京
京城大和町二丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話一二〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

人力車及附屬品
並に
教育玩具
壹割引大安賣
京城明治町一丁目漢城病院前元尾川商店跡
吉岡商店
電話一千八百四十番

和洋反物各種
新案九たびもた
堅牢を廉價に當る織
京城本町一丁目
來原商店
電話四八三番
丸出張店

營業科目
和洋紙類
印刷用品
印刷インキ
和洋書籍
印刷ブレン
諸物食品
諸雜貨類
取扱品
販賣部
本社 出張所

米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊎印醬油
仁川日本醬油株式會社製㊎印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋㊂印酢
肝浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品（入浴用）
湯の花菓子（茶用）瓶入各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國響足袋
特約店
雜貨部 京城本町六丁目 今藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電話三〇八番（ク）
其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦、煉瓦、明太魚、鯨昆布、蕃青蓮、味噌、罐詰、干香、其他乾物類一式